

2016年 3月 1号



# 感謝状を貰えなかった事どう思うか？ 田中文教委員長が業者へ質問！ メディア屋根水溜り問題などで文教委



**写真** メディアコスモス屋上の水溜り。鋼板が波打ち雨水がドレン（排水口）に流れないため常時雨水が溜まる。ソーラーパネルが重いため、屋根が沈みパネル支柱部分が低くなる。水溜りには土ほこりが溜まり、コケも発生している。パネル下黒く見えるのは全て雨水。

2月25日(木)午後1時から全員協議会室で岐阜市議会文教委員会が開会されました。議題はメディアコスモス（図書館）屋上の水溜り問題等の修理問題です。委員会には、施工業者の戸田建設と設計業者の伊藤事務所から各2名が参考人として出席しました。

標題の田中文教委員長の質問は、2時間ほどの質疑の最後に発言されました。「これぐらいの（大きな規模の）建築物になれば、開所時に普通は感謝状をお渡しして、感謝を表明するものですが、この建物では感謝状贈呈がされていません。完成時とされる時に、不備が指摘され問題にされているわけですが、その事をどう思われますか？」と。対する業者の答弁は声が小さく聞き取れない。議事録を精査しないとわかりません。

**特殊な構造なので、大変であった。出来るだけの努力はしたが・・・戸田建設**

今までに無い特殊な構造（設計）なので大変であった。模型を作り確認をしながらの施工であり、最善を尽くしたが、屋根球面は模型を作ったが平面が作れず、水の流れをドレン（排水口）に導けなかった。つまり、戸田建設の答弁は、暗に、「元々が無理な設計（設計は伊藤設計）だが施工（戸田建設）は最善であった」と言いたいようでした。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

## 雨水溜まっても漏れないので・・・(良いではないか)？

「雨水が溜まっても、防水は大丈夫ですから漏れているわけではありません」と戸田建設と伊藤設計事務所は説明します。しかし、文教委員からは「屋根というものは雨水を速やかに排水し、建物を水から守る為にあるのであり、水を溜める為にあるわけではないでしょう」との指摘が再三されました。

また、「常時水が存在する事が屋根の劣化に拍車をかける」ことも指摘されました。2業者は雨漏りを無いのを強調されますが、そもそも「雨漏り」は論外では？

「太陽の陽が当たれば、水は溜まらないのですが・・・」答弁・・・に、ビックリ！伊藤事務所の参考人は、自分の答弁の重要性に気付かれていないようです。「木造屋根のために、太陽光パネルが重くその支柱部分の屋根がへこんで雨水が溜まる」のを指摘されました。すると、伊藤設計は「パネルが無ければ、陽が当たって(乾くので)水が溜まらないのですが」と答弁。傍聴席から失笑が・・・。「設計者によれば、太陽があれば、排水口は要らないのでは。ということか？」

**屋根の「ゆがみ」は、誤差の積み重ねで・・・「やむをえない」と言いたげ！**



沖縄の陸軍病院壕前にある石碑

伊藤設計は「誤差の積み重ねが屋根の鋼板の「ひずみ」に結びついた」と説明します。しかし、その誤差も含めて設計ではないのか？ また、戸田建設は暗に工事費が安かった事を発言されていたように感じます。「安かろう、悪かろうか？」不良工事の言い訳になるのか？ 戸田建設答弁で「修繕が根本的改善にならない」事が明らかになりました。委員質問に対し、業者持ちの修理費の額は明らかになっていません。

## 感謝状は「不適格」指摘は

### 建設委員会での 松原のいかず質問から

60億円もの建設費を要したメディアコスモス(市立図書館)ですが、この規模の建築物で完成時に感謝状が工事業者へ贈呈されない例は珍しいです。

図書館は完成したとされていますが、当初より雨漏りをはじめ指摘事項も多く「感謝にふさわしくない」のでは、と松原のりかずが「市議会建設委員会で指摘」したところから市議会の論議が展開されることとなりました。今も屋根裏水分を乾燥させるための仮設送風機は、昨年5月から送風し続けて、もう1年になろうとしています。とても「完成品」と思えません。



松原のりかず  
☎058-253-2500